

ニュースレター

No.96

2021年6月15日

神奈川県自然保護協会からのお知らせ

2021年度総会は文書表決で行います 2ページ以降に議案書を掲載しました

投票できる方（資格がある）には、返信用はがきを同封しています。時間が短くて申し訳ありませんが。返信はがきは 6 月 25 日までに投函してください。

* ニュースレターの送付と、会員資格について

- A 2020 年度までの会費を頂いた方を正会員としてはがきを同封しています。
- B 2020 年度以降が未払いの会員には未納会費の納入をお願いしつつ協会発行物はお送りしています。
- C 2019 年度以降の会費が未納の方は退会扱いとなりますが、再入会をお願いしつつ発行物はお送りします。
- 送りしているヤマト運輸 DM 便は、請求書等の親書の送付は禁止されていますので、それぞれの方には、送付封筒の宛名部分にシールを貼り、その色でお知らせしています。
- 白・・・ 早々の会費納入ありがとうございました。
- 緑・・・ 昨年度分までの会費はいただいております。

す。本年度分をお願いします。

- 青・・・ 昨年度分の会費をまだいただいております。本年度分と合わせてお支払いいただければ幸いです。
- 黄・・・ 2019年度分からの会費をいただいております。ご希望により、2年間休会されたことにして本年度分からお支払いいただくこともできます。
- 赤・・・ 会員としての継続をお願いしていましたが、お応え頂けなかったため今号をもちまして発行物発送を止めさせて頂くことにいたします。いずれの時に再入会して頂けることをお待ちしております。

メールアドレスをお教えてください。

納入には同封の、ゆうちょ振込用紙をご利用下さい。昨年、ここにメールアドレスの記入をお願いしています。差し支えなければお書きくださいますようお願いいたします。

お書きいただいた方にはできるだけ新しい情報をお届けしようと思っています。

すでに、こちらからのメールが届いている方は、記入の必要はありません。一部の方はアドレスをお書きいただいたのに正しく読み取れないために、お知らせができていないケースがあります。お心当たりがありましたら再度お書きくださるようお願いいたします。

2021年度さがみ自然フォーラムについて 一般向けワークショップ運営企画団体を募集します

昨年度の「さがみ自然フォーラム」は、コロナ禍のために展示は中止となりました。

本年度については2022年2月10日（木）から14日（月）まで開催いたします。

例年の通り、自然環境保全や調査、啓発などにかかわる団体等の展示や、口頭発表、シンポジウムまたは講演会などのイベントを通して、仲間同士の交流、一般の方たちへの啓発活動などを行います。

今回は特に一室設け、ここで一般向けワークショップをしていただける団体等を募ります。

内容は、それぞれの団体等の特色を生かして生物多様性啓発に資するものです。

会場の都合で生きた動物は扱えないなどの制約はあるので、事前に相談をさせていただきます。

応募多数の場合は、同時進行が可能か、日を分けて実施するか、初めての試みなので和からなことがたたるのですが、奮ってご応募ください。

なお、実施に関わる経費についても団体等に負担がかからないよう考えさせていただきたいと思っています。

2021年度（第18回） 特定非営利活動法人 神奈川県自然保護協会 総会資料

2020年度の活動から

外来種駆除作業 厚木市弁天山 ウシガエル（特定外来生物）の除去



弁天山には採石場跡に湧水がたまった池があり、イトモやイヌタヌキモなどが生育し、発生するトンボの種類も多いところである。

駆除数

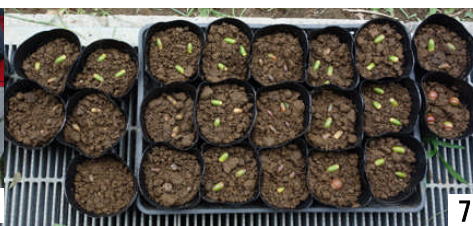
実施日	成体	幼体
6/18	5	21
6/25	1	9
6/30	35	127

しかしここはウシガエルの数も多く、ここで発生する幼体が隣接する「あつぎこどもの森公園」（陸棲魚類でホットスポットに選定され、その他の生物多様性でも良好な状態）に移動してくる。

このため、地権者の了解のもとに作業を行った。

厚木市民エコツアー

9月13日 里山の秋を見つけよう（あつぎこどもの森公園）



1：地層の見学 2：植物観察 3：草原でバッタ類探し 4：昆虫の話を聞く 5：ドングリ拾い 6：ドングリのポット苗作り 7：できたポット苗 秋の里山からは食の恵みもいろいろあるのですが、時節柄遠慮することになりました。

かながわの地学巡検

2020年3月6日

腰越小動岬から稲村ヶ崎



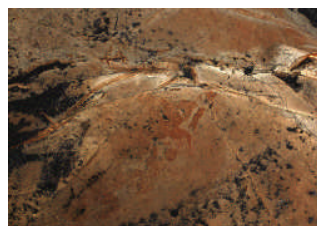
講師 笠間友博理事による開会挨拶と説明。



波打ち際の砂の中で雲母がキラキラ光っている。その他砂粒をルーペで見ると、いろいろな鉱物が見つかる。



砂浜に向かって開いた排水孔は、河川が形成する地形のミニチュアを作っている。



岩に付いている模様は、生痕化石



さがみ自然フォーラム 展示などイベントは新型コロナ蔓延のため中止。レジュメ冊子は発行しました。

2021年度（第18回）神奈川県自然保護協会総会議案書

第1号議案 2020年度事業及び決算報告（案）及び監査報告

2020年度事業報告

1 事業活動概要

本協会は諸活動・行事を通してできた県内各地の団体とのつながりを更に発展させる方向で、生物多様性ホットスポット選定、ブルーリスト作成の成果を生かし、県内生物多様性保全や、そのための啓発活動を更に発展させる取り組みを進める方針のもと運営してきました。

しかし、新型コロナウイルスによる社会の混乱により支障が多く困難な状況が続きました。

2 個別事業内容

（1）自然保護に関する普及啓発事業

神奈川の自然を理解し健全な自然の保全・再生を目ざし、これを阻害する要因である外来生物も対象に一般県民に自然と人とのよりよい関わり方を探る啓発活動を行う。

ア シンポジウム・講演会開催事業

集会をともなう活動は、感染防止の観点から行えませんでした。

イ 自然観察会

地形・地質観察会 2021年3月6日（土）腰越小動岬から稲村ヶ崎方面実施。今後当面の間「神奈川の地学巡検」として続ける。

エ 厚木市生物多様性地域戦略推進事業協働

厚木市が策定した「生物多様性あつぎ戦略」実施に当たり、さがみ自然フォーラム運営委員会を中心にその実施を協働で行う。

・さがみ自然フォーラム

2021年2月11日～15日

2回目の緊急事態宣言のため、会場の都合により中止。ただし、参加団体の活動報告レジュメ集冊子は発行した。

・厚木市民向けに生物多様性を感じるエコツアー

9月13日あつぎこどもの森公園で秋を見つけよう開催 親子20名 自然観察 昆虫採集観察 どんぐり拾い。

・特定外来生物対策 ウシガエル駆除用アナゴ籠設置 6月25日

（2）広報・刊行事業

ア 啓発誌発行事業 1

啓発誌「かながわの自然」68号 ブルーリスト特集で編集

イ 啓発誌発行事業 2

情報紙「ニュースレター」

NPOとしての活動に関する広報

行事に関する広報／県内の自然保護の動きに関する情報／神奈川県の環境行政の動向に関する広報

など隔月を目標に発行する。1回発行

ウ ホームページの運営

印刷物では行き渡らない情報発信の場として、ホームページの充実に努めた。

さがみ自然フォーラムのページを充実した。

レジュメ集から参加各団体HPへのリンクを張った。

（3）他の団体等との協働・連携や支援に係わる活動

ア さがみ自然フォーラム開催（再掲）

県内で野生動植物の保全再生活動を行う個人・団体、研究者、組織等の関係者が集まり、意見や情報の交換を行う。（厚木市との協働）今回は第20回目となる節目であり、レジュメ集の充実に努めた。コロナ禍のために実会場での開催はできなかったが、冊子の発行、及びこれのHPでの公開により、所期の目標は果たせた。

・レジュメ集内容

20年を振り返る特集

県内活動団体からの報告

小中学校、幼児教育施設の活動報告

高校生・大学生・研究者による発表

イ 専門家派遣事業

・本年度該当無し。

（4）県内自然の諸問題に対する調査・研究

・神奈川県内、生物多様性ホットスポットプロジェクト

外来生物ブルーリスト現時点でのまとめとして、「神奈川の自然」で特集をする。（編集集中）

・平塚 龍城ヶ丘プール跡地開発について、地元団体との話し合い、県砂防海岸課との話し合い。海岸林保全の重要性を訴えた。

（5）行政への働きかけ・協働

・例年行っている、担当副知事との意見交換会はコロナ事情により行わなかった。

（6）2020年度・役員が協会代表として行政および他機関の役職についたもの。

（藤崎理事長）

・小網代の森保全対策協議会委員

・かながわ地球環境保全推進会議委員

・丹沢大山自然再生委員会委員

（青砥副理事長）

・神奈川県環境農政局主管公共事業評価委員会委員

・水源環境保全再生かながわ県民会議委員

・かながわトラストみどり基金緑の募金運営協議会委員

・厚木市環境審議会委員

（片桐副理事長）

- ・神奈川県環境審議会委員
(廣崎理事)
- ・藤沢市環境審議会委員
- ・茅ヶ崎中海岸侵食対策協議会委員
(村上理事)
- 第2次かながわ生物多様性計画検討委員

3 運営体制

・実際の活動はメンバーの住所が近い、さがみ自然フォーラム運営委員会による厚木市との協働及び委託事業が大きな部分を占めました。これは全県的に見たときに活動が偏っていると言えますが、逆にこれがなければほとんど活動がなかったとも言えます。

本協会の今後を考えるとときの大きな課題と言えます。

・現事務局は高齢化が進み、諸作業で非常に効率が落ちています。資料印刷・現金出納・行事実施など協力して下さる方、及びSNSなどでの発信力を高める活動ボランティアを求めています。

4 会議の開催

総会 本年は書面で行う。

理事会 年2回

運営委員会(事務局会)、各部会など随時開催

運営委員会はコロナ状況により11月に1回開催。

さがみ自然フォーラム運営委員会 15回

2020年度 収支決算書 (案)

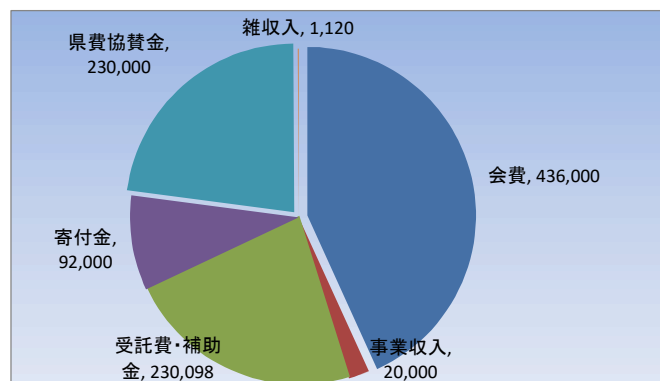
2020年4月1日から2021年3月31日まで

科 目	金 額 (円) ()内数字は明細			備 考
	予算	決算	増減 (△減)	
I 収入の部				
1 会費・入会金収入	455,000	436,000	△19,000	会費
2 (1) 事業収入	80,000	20,000	△60,000	
(2) 受託金	526,350	230,098	△269,852	
ア 厚木市生物多様性戦略普及事業	(499,950)	(230,098)	(△269,252)	さがみ自然フォーラム不開催分戻入
イ 厚木市河川ふれあい事業	(26,400)	(0)	(6,400)	指導者人数対応
3 寄付金	80,000	92,000	12,000	
4 神奈川県協賛金	230,000	230,000	0	
5 雑収入・源泉所得税預かり金	3,500	1,120	△2,380	
6 事業費取崩	0	0	0	
今期収入合計 (A)	1,374,850	1,009,218	△365,632	
預かり金	9,000	24,000	15,000	20年度以降前受け会費
前期繰り越し収支差額	274,858	274,858	0	
収入合計(B)	1,658,708	1,308,076	△350,632	

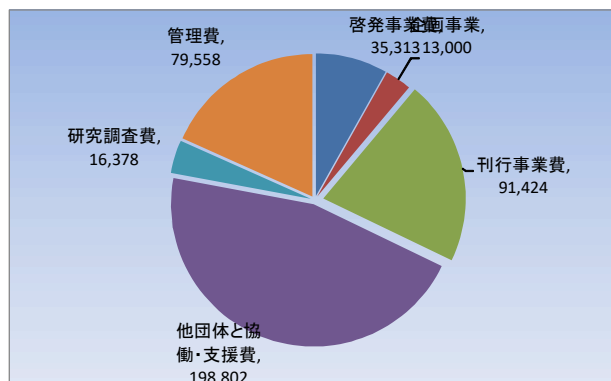
II 支出の部				
1 事業費	1,395,333	354,917	△1,040,416	
(1) 普及啓発事業	153,333	35,313	△118,020	
ア 講演会開催事業費	(33,333)	(0)	(△3,333)	
イ シンポジウム開催事業	(90,000)	(0)	(△90,000)	
ウ 自然観察会開催事業	(30,000)	(35,313)	(5,313)	講師・スタッフ経費
エ 啓発ブース出展費用	(0)	(0)	(0)	
(2) 企画事業費	45,000	13,000	△32,000	
ア 厚木市イベント	(20,000)	(13,000)	(△7,000)	
イ 河川ふれあい事業	(25,000)	(0)	(△25,000)	厚木市委託事業
(3) 刊行事業	650,000	91,424	△558,576	
ア 啓発誌発行事業 1	(550,000)	(8,000)	(△542,000)	神奈川の自然 67号刊行
イ 啓発紙発行事業 2	(40,000)	(40,584)	(584)	ニュースレター号
ウ ホームページの運営事業	(60,000)	(42,840)	(△17,160)	ホームページサーバー管理料
エ その他印刷物作成	(0)	(0)	(0)	
(4) 他団体との協働・支援	502,000	198,802	△303,198	
ア さがみ自然フォーラム	(490,000)	(186,802)	(△303,198)	協力者謝礼・レジュメ印刷他
イ 他団体会費	(12,000)	(12,000)	(0)	丹沢大山再生委員会。丹沢ボラネット
(5) 調査・研究費	45,000	16,378	△28,622	
ア 自然環境調査費	(30,000)	(1,378)	(△28,622)	ホットスポットワーク
イ 資料購入費	(15,000)	(15,000)	(0)	日本自然保護協会
2 管理費	148,500	79,558	△68,942	
(1) 役員報酬	0	0	0	無償
(2) 事務局人件費	0	0	0	無償
(3) 備品費	0	0	0	
(4) 消耗品費	25,000	10,328	△14,672	事務用品・用紙・電池など

(5) 役務費	5,000	5,830	830	コピー代・宅配便送料他
(6) 交通費	40,000	40,000	0	交通費等立て替え弁償
(7) 通信費	15,000	12,600	△2,400	役員連絡・行事開催連絡・総会用はがきなど
(8) 会議費	60,000	10,800	△49,200	会議会場費・弁当代
(9) 雑費・源泉所得税納入	3,500	0	△3,500	講師謝礼源泉徴収税支払い預金利息他
3 事業積立金	0	0	0	
4 前受け会費	9,000	24,000	15,000	次期会計へ
5 予備費	105,875	0	△105,875	
当期支出合計(C)	1,658,708	458,475	△1,200,233	
当期収支差額(A)－(C)		550,743		
次期繰越収支差額(B)－(C)		849,601		

収入



支出



特別会計

名称	前年度末残額	本年度取崩	本年度積み増し	本年度末残額
事業用積立	2,415,000		0	2,415,000
備品償却引当金	693,050	0	2,018	695,068

※備品引当積み増しの定額貯金にしてあった備品引当金のうち 98,000 円分が満期になったので利子を含めて 100,000 円にして預けなおした。

備品

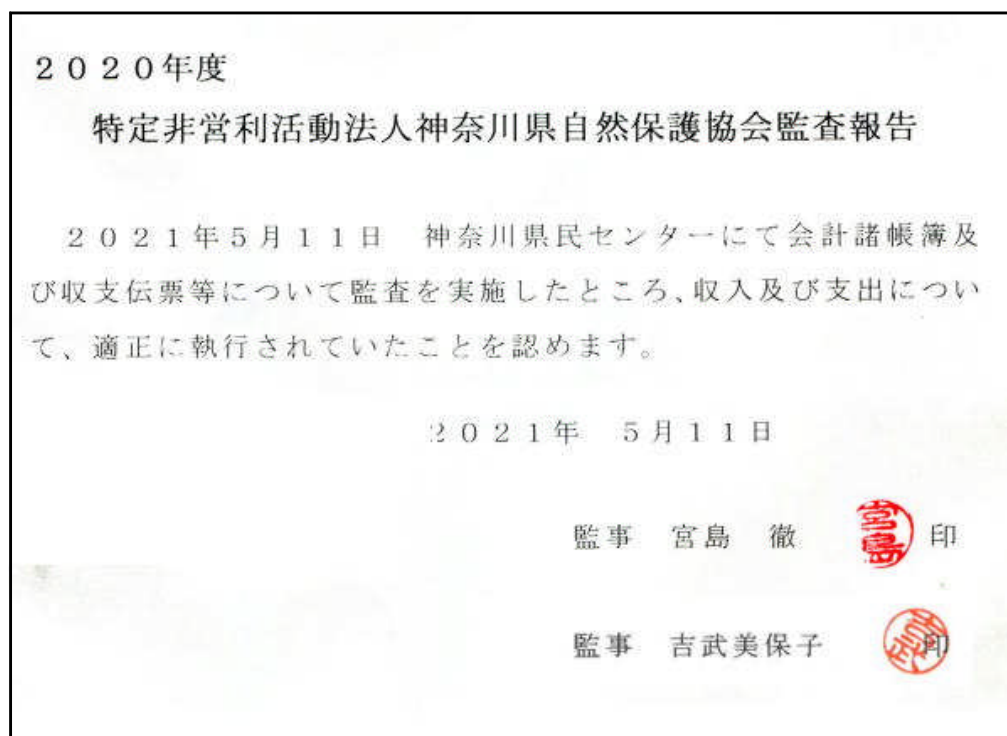
	前年度末評価額	本年度購入	本年度償却額	本年度末評価額
トランシーバー、PC 等	20,000	0	20,000	0

財産目録 2021.3.31

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	40,670		
普通預金 横浜銀行	177,472		
普通預金 スルガ銀行	50,710		
通常貯金 ゆうちょ銀行	65,006		
振替口座 ゆうちょ銀行	14,000		
事業積立			
定額貯金 ゆうちょ銀行	2,215,000		
定期預金 スルガ銀行	200,000		
備品償却積立			
定額貯金 ゆうちょ銀行	505,000		
定期預金 スルガ銀行	190,068		
流動資産 計		3,457,926	
2 固定資産			
備品	0		
固定資産 計		0	
資産合計			3,457,926
II 負債の部			

1 流動負債			
前払い会費預かり金	73,000		
未払い金	0		
短期借入金	0		
流動負債 計		73,000	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債 計		0	
負債合計			73,000
正味財産			3,384,926
昨年(3,220,403)比			164,523

2020年度監査報告



第2号議案 役員選任に関する件

2021年度から2022年度の役員として以下の方をお願いします。下線の方は新任、他は再任です。

理事 青砥航次 大谷房江 片桐 務 笠間友博 岸 一弘 北野忠 高柳英麿 原田禎介 廣崎芳次 藤崎英輔
村上雄秀 八城敬友 山口勇一 (13名)

監事 持田幸良 吉武美保子 (退任) 宮島 徹

第3号議案 2021年度事業計画及び予算(案)

2021年度事業計画(案)

1 事業活動方針

本協会はさがみ自然フォーラム等を通してできた県内各地の団体とのつながりを更に発展させる方向で、生物多様性ホットスポット選定、ブルーリスト作成の成果を生かし、県内生物多様性保全や、そのための啓発活動を更に発展させる取り組みを進める。

新型コロナウイルスによる社会の混乱により先行きが見えない状況であるものの、有効な活動のあり方を求めていく。

2 事業内容

- (1) 自然保護に関する普及啓発事業
ア シンポジウム・講演会開催事業
・生物多様性の保全に関する講演会

2022年2月頃

- イ 自然観察会
生物多様性ホットスポット対象の自然観察会・勉強会シリーズ。
第1回 三浦半島方面 日未定
他 随時

かながわの地学巡検（地形・地質観察会）

北鎌倉方面 2022年3月頃

エ 厚木市生物多様性地域戦略推進事業協働

厚木市が策定した「生物多様性あつぎ戦略」実施に当たり、さがみ自然フォーラム運営委員会を中心にその実施を協働で行う。

- ・さがみ自然フォーラム

2022年2月10日～14日

- ・厚木市民向けに生物多様性を感じるエコツアー実施 8月日未定 相模川

水産技術センター内水面試験場協力

- ・特定外来生物対策 啓発活動及び市民向け自然観察会と除去作業

オ あつぎ環境フェア ブース出展

10月17日 厚木中央公園

生物多様性普及に関する展示、さがみ自然フォーラムPRなど。

（2）広報・刊行事業

ア 啓発誌発行事業 1

啓発誌「かながわの自然」68号

前年度発行予定が遅れている外来生物 ブルーリスト特集を発行する。

イ 啓発誌発行事業 2

情報紙「ニュースレター」

NPOとしての活動に関する広報など随時。

など隔月を目標に発行する。

ウ ホームページの運営

印刷物では行き渡らない情報発信の場として、ホームページの充実にも努める。

エ かながわの自然保護の新しい状況を伝えるメールマガジン 発行随時

オ 県内の自然や、本協会の活動を広報するポスターの内容の充実を図り、機会を捉えて掲出する。

- カ その他必要に応じて、協会紹介パンフレットづくりなど行う。

（3）他の団体等との協働・連携や支援に係わる活動

- ア さがみ自然フォーラム開催（再掲）

県内で自然環境の保全再生活動を行う個人・団体、研究者、組織等の関係者による活動報告展示を通して一般県民に対する啓発や交流を行う。（厚木市との協働）

- ・日時 2022年2月10日～14日

- ・会場 厚木市市民活動プラザ（アミュー厚木）

県内活動団体・企業等からの報告

小中学校、幼児教育施設の活動報告

高校生・大学生・研究者による発表

ポスター展示及びステージ発表

生物多様性をテーマとした講演会

イ 専門家派遣事業

- ・内容 協会会員のうちで自然に関する各分野の専門家を、必要とする団体等に対し指導・協力者として派遣・及び機材の貸し出しをする。

ほか

ウ その他 必要な活動

（4）県内自然の諸問題に対する調査・研究

- ・神奈川県内生物多様性ホットスポットプロジェクト 選定したスポットの追加、発展作業

外来生物ブルーリスト改定に向けて調査補充

- ・他 自然全般

（5）行政への働きかけ・協働

- ・神奈川県環境行政について、県民と担当部局の意見交換の場を設け、よりよい協働への機会を作る。
- ・県内各地で起きる自然破壊、自然保護上の問題に対する要望、意見書の提出など。

3 事務局体制

- ・現事務局は高齢化が進み、諸作業で非常に効率が落ちています。資料印刷・現金出納・行事実施など協力して下さる方、及びSNSなどでの発信力を高める活動ボランティアを求めています。

4 会議の開催

総会 本年は書面で行う。

理事会 年2回

運営委員会、各部会など随時開催

原則誰でも参加自由です。事務局にお問い合わせください。

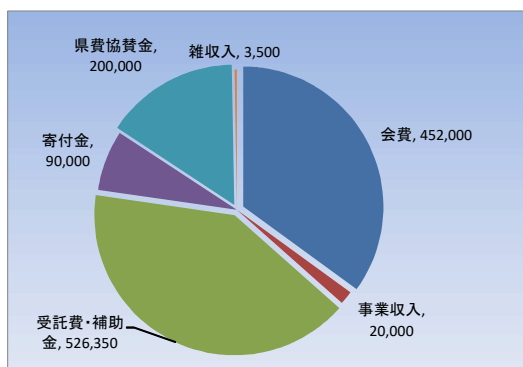
2021年度予算（案）

2021年4月1日から2022年3月31日まで

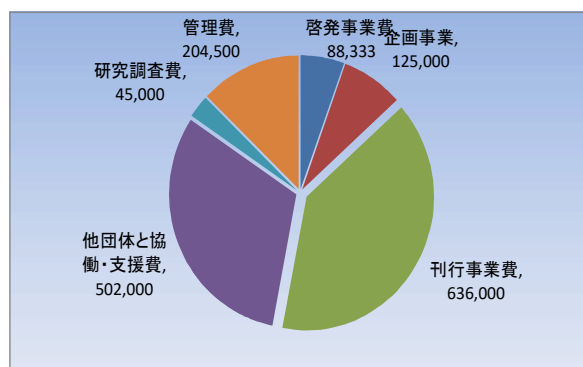
科 目	金 額（円）（ ）内数字は明細			備 考
I 収入の部	前年度実績	本年度予算	比較（△減）	
1 会費収入	436,000	452,000	16,000	
2（1） 自然保護に関する普及啓発事業	20,000	20,000	0	
ア 自然観察会開催事業	(20,000)	(20,000)	(0)	観察会参加費
（2） 受託費・補助金	230,098	526,350	296,252	
ア 厚木市生物多様性普及事業受託金	(230,098)	(499,950)	(269,852)	昨年減額分復旧
イ 厚木市河川ふれあい事業	(0)	(26,400)	(26,400)	
3 寄付金	92,000	90,000	△2,000	一般寄附及び書籍譲渡見返
4 神奈川県協賛金	230,000	200,000	△30,000	本年度より減額
5 雑収入・源泉所得税預かり金	1,120	3,500	2,380	
6 事業積立取り崩し	0	0	0	
当期収入合計(A)	1,009,218	1,291,850	282,632	
預かり金（前受け会費）	24,000	9,000	△15,000	2022年度以降分
前期繰り越し収支差額	274,858	849,601	574,743	
収入合計(B)	1,308,079	2,150,451	842,375	

Ⅱ 支出の部				
1 事業費	354,917	1,396,333	1,041,416	
(1) 自然保護に関する普及啓発事業	35,313	88,333	53,020	
ア 講演会開催事業費	(0)	(33,333)	(33,333)	講師謝礼他経費
イ シンポジウム開催費	(0)	(0)	(0)	
ウ 自然観察会開催事業	(35,313)	(35,000)	(△ 313)	講師謝礼他経費
エ 啓発ブース出展費	(0)	(20,000)	(20,000)	
(2) 企画事業費	13,000	125,000	112,000	
ア 厚木市イベント	(13,000)	100,000	(87,000)	外来生物啓発・エコツアーバス他
イ 河川ふれあい事業	(0)	25,000	(25,000)	
(3) 刊行事業	91,424	636,000	544,576	
ア 啓発誌発行事業 1	(8,000)	(550,000)	(542,000)	かながわの自然 68号
イ 啓発紙発行事業 2	(40,584)	(40,000)	(△ 584)	ニュースレター
ウ ホームページの運営事業	(42,840)	(40,000)	(△ 2,840)	
エ その他印刷物作成事業	(0)	(6,000)	(6,000)	協会紹介パンフレット等
(4) 他団体との協働・支援	198,802	502,000	303,198	
ア さがみ自然フォーラム	(186,802)	(490,000)	(303,198)	運営費 当日資料 他
イ 他団体協賛金	(12,000)	(12,000)	(0)	丹沢大山自然再生委員会 丹沢ボラネット
(5) 研究調査費	16,378	45,000	28,622	生物多様性ホットスポットプロジェクト他
2 管理費	79,588	226,000	146,442	
(1) 役員報酬	0	0	0	無償
(2) 事務局人件費	0	0	0	無償
(3) 備品費	0	100,000	100,000	PC購入
(4) 消耗品費	10,328	25,000	14,672	事務用品・会議資料用紙代
(5) 役務費	5,830	6,000	170	コピー 宅配便送料 駐車料等
(6) 交通費	40,000	40,000	0	交通費他
(7) 通信費	12,600	15,000	2,400	連絡郵送代・行事開催連絡他
(8) 会議費	10,800	15,000	4,200	役員会会場費・弁当代
(9) 雑費・源泉所得税支払い	0	3,500	3,500	
3 事業積立金	0	400,000	400,000	周年記念行事に向けて
4 前受け会費	24,000	9,000	△ 15,000	2022年度以降分前受け会費
5 予備費	0	140,618	140,618	
当期支出合計(C)	458,475	2,150,451	1,691,976	

収入



支出



ニュースレター 96号

2021年6月15日発行

特定非営利活動法人

〒243-0816 厚木市 林 5-15-10 青砥方

神奈川県自然保護協会

TEL&FAX 046-222-2356

<http://ww01.eco-kana.org>

Eメール: nacs-kana-office01@eco-kana.org

郵便振替口座 00230-0-112653 銀行からの振り込みは ゆうちょ銀行(9900) 029 (セロキョウ)店 当座 0112653

諸般の事情によりニュースレターの発行が少なくなっています。別冊もしばらく休止しています。

メールアドレスが分かる会員の方には、別途通信をお送りしています。差し支えなければ E メールアドレスをお知らせください。